



発行：地域力推進久が原地区委員会
編集：地域情報紙「くがはら」編集委員会
事務局：大田区久が原特別出張所
〒146-0085 大田区久が原4-12-10
TEL(3752)4271 FAX(3752)4514

久が原地区管内

<人口> <世帯数>
男 14,112人 13,976世帯
女 15,013人
計 29,125人 令和6年6月1日現在

新任のごあいさつ 「どうぞよろしくお願ひいたします」

久原小学校長
はせがわ のりまさ
長谷川 典雅



保護者・地域と歩む
学校づくり

令和6年4月1日付で、久原小学校長として着任しました長谷川典雅です。

本校はコミュニティ・スクールとして保護者や地域の皆様と共に、教職員が一丸となって、健やかな子どもたちを育てて参ります。どうぞ、よろしくお願ひいたします。

松仙小学校長
はや み たい いち
早見 泰一



文武両道

大田区の小学校の管理職として、池雪・新宿・雪谷・千鳥、そして本校と5校目となりました。「文武両道」の学校をめざし、「学力の向上は、体力の向上から」をスローガンに掲げ、よく遊び、よく学ぶ子を、地域のみなさま方と手を携えながら育てていきたいと思ひます。子どもたちの成長のために、全力を尽くす所存です。ご支援・ご協力よろしくお願ひいたします。

久が原特別出張所長
むら た あつ こ
村田 敦子



人々が笑顔で
温かくつながる街へ

着任より皆様からの温かいお声かけや小学校から聞こえる子ども達の元気な挨拶に力を頂いております。久が原地区の歴史や文化を大切に受け継ぎ、緑豊かなこの地域で人々が笑顔で温かくつながる街を目指し皆様と様々な力を融合し、温かな活気溢れる街づくりに尽力してまいります。

10代

感謝の富士登山

何年前かの夏休み、いつか登ってみたいと憧れていた日本一の山に挑戦しました。決して平坦な道ではなく、私に自然の厳しさを教えてくれました。

富士山麓に祖父母が住んでいるので、小さな頃から雄大な姿を身近に感じていました。私の一番好きな富士山は、山開きをする夏、日が落ちて山の中に点々と、そして次第に強く明るく、天に続く光の道が現れます。登山者のヘッドライトが作り出す光景は綺麗で、私もその一部になっている、今誰かが見ているんだと思ひながら歩きました。

途中苦しくて弱音を吐き足が止まってしまった時、全く知らないたくさんの人に励まされ頂上に立つことができました。

もう少しで手が届きそうな星空、御来光を拝み感動したこと、そして人の温かさ、優しさを忘れることはないでしょう。

有澤 樹音



夏休みの思い出

20代

途上国への一人旅を通して

大学一年生の夏、私は一人でマレーシアとカンボジアを訪れました。もともと途上国の経済開発に興味があったので、自分の目で現状を見たいと思ひ、カンボジアでは孤児院でのボランティアに参加しました。

都市部では想像以上に経済が発展していましたが、農村部ではまだインフラが整備されていなかったり、将来の夢があってもお金や機会に恵まれず、諦めざるを得ない現状を子どもたちから聞き、貧困や格差といった社会課題が残存することを考えさせられました。旅行中は自分で行程を決めたり、思いがけないハプニングがあったり、不安や大変さはありましたが、自分でなんとかする力がつき、とても楽しかったです。この旅を通して、途上国の社会課題の解決に携わっていきたくより強く思うようになり、挑戦して良かったなと思ひました。今後の大学生活でも様々なことを経験し、視野を広げていきたいです。

高木 美咲



60代

記憶の中のたからもの

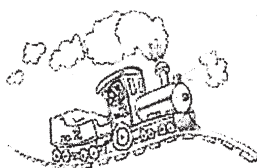
子どもの頃、一人っ子の私にとって母の故郷の山梨で大勢のいとこ達と過ごす夏休みは、何よりの楽しみでした。

ラジオ体操の音楽で目覚め、井戸水で顔を洗い、朝食後宿題を済ませると、毎日のように近くの丘や川に遊びに行ったものです。危うく大けがをしそうになったこともありましたが、大人達には内緒にするという暗黙の了解は、子ども同士の結束を強めるのに役立ったようです。皆で楽しく夢中に過ごすうちに日々は過ぎ、気づけば帰京の日が近づいているのが常でした。往路で元気よく鳴り響いたSLの汽笛が、帰路では寂しく切なく耳に届きました。

今では同じ場所とは思えないほど様変わりしたその地ですが、目を閉じて佇めば、吹く風の匂いは思い出の中のそれと変わりません。

年に一度墓参りでそこを訪れる度に、半世紀以上昔の幸福な子どもだった時を思い出します。あの日々は間違いなく私の「たからもの」でした。

遠藤 さとみ



70代

夏といえば奈良である

学生時代のサークル古美術研究会の夏の合宿地だ。奈良国立博物館の前の日吉館に数十人で合宿するのが恒例になっていた。

名物おばちゃんのいる日吉館は、歌人で東洋美術研究者の会津八一の宿として有名で、大学の研修者の宿泊と学生の滞在が多かったが、残念ながら現在はなくなった。

二年生の夏(昭和41年)、合宿とは別に親しい友人と二人で法隆寺の一週間の夏期講座に参加した。しかし日吉館の1週間の宿賃がバイトでは稼げなかったので一計を案じ、先輩のツテで夏休みで帰省した奈良の学生の下宿先に滞在した。二食付きでホテルや宿舎より格段に安かった。結局、法隆寺の講座の他にもう一週間滞在し、二週間奈良のお寺巡りをした。特に柳生の里にはバスで何日も通い、額の汗を拭きながら寺への坂道をのぼった。夜の奈良も楽しいものだった。

その時の友人とは定年後、毎年のように昔の仲間を誘い、東京から車で奈良を訪れていた。その後、彼は体調を崩し最近彼とは行けていない。学生時代の懐かしい思い出である。

中安 久司



奈良国立博物館の前で



わたり中止を余儀なくされてきた各種イ
当自治会もコロナ禍によって約3年に
暮らした思いを馳せてみてはいかがで
この公園にいらした際には古代の住人の
堅穴住居跡が発見されたとのこと。す
の終わりから古墳時代の初めにかけての
する久が原南台児童公園からは弥生時代
遺跡」の一角をなしており、会館に隣接
ます。会館周辺の高台エリアは「久ヶ原
を拠点として、自治会活動を展開してい
位置しており、久が原クラブという会館

ベントの再開
を図り、防災
訓練ならびに
クラブ祭りを実施しました。クラブ祭り
では餅つきに代わり、日頃自治会館を利
用されているドレミクラブ、くがはら工
ンジェルズならびに久が原ヨガの皆さん
に活動内容をご披露いただきました。
また最近ポッチャで盛り上がりつつ
あり、自治会内のみならず、他自治会チー
ムとの対抗戦も見据えて練習に励んでい
ます。

久が原南自治会長 今富 祥雄

かとう しげお
加藤 茂夫さん



久が原東自治会の新年会、東寿会の誕生会、
調布地域演芸大会等で、高らかなトランペットの
音を聞いた方がいらっしゃるかと思います。久が
原二丁目在住の加藤茂夫さんです。私が初めて加藤さんのお名前を目にした
のは、10年以上前的高校野球都大会の新聞記事でした。対戦相手には大勢
のブラスバンドの応援があるのに、伊豆諸島の島高校の応援は加藤さんの
トランペットのみ。「たった一人の応援団」という記事でした。

加藤さんは、長年にわたり島中学校の音楽教師を勤められたため、品川
の小学校に転勤された後も、神宮球場などの会場でトランペットを手にして、
応援を続けてきました。定番の曲だけでなく、選手一人一人の出身中学校の
校歌も演奏して、大変喜ばれているそうです。また、スタンドで教え子やその
子どもたち、孫にまで会えるのも楽しいことだとおっしゃっていました。

今年で米寿を迎えられる加藤さんに元気の秘訣をうかがうと、週1回のグラ
ンドゴルフ、輪投げ、毎日5,000歩以上歩くこと、週2回バスと電車を乗り継
いで、1時間以上かけて通っている、畑での野菜作りだそうです。50坪の畑
にじゃがいも、玉ねぎ、ブロッコリー、なす、
きゅうりなど、一人で種まきから収穫までさ
れるそうです。また、フェイスブック（毎日
写真も添える）、健康管理、クイズでのポ
イント獲得など、スマートフォンも活用され
ています。

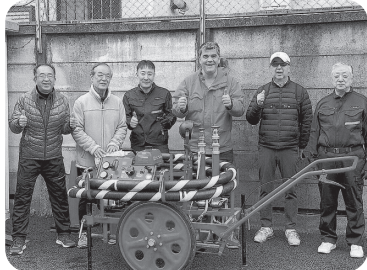
奥様の作詞で「虹の部屋」や「あつぷ
る池上保育園」の歌を作曲されたり、まだ
まだ活躍の場が広がりそうです。

(本間 良子)



最終回

久が原の自治会 (5回シリーズ)
久が原南自治会



市民消防隊 C級ポンプの前で

イベント情報

- ◆ヒルズ久が原打ち水・納涼のタベ
【開催日】8月4日(日) 16時～
【場 所】ヒルズ久が原 中庭
- ◆ライラック通り夏祭り
【開催日】8月25日(日) 17時～
【場 所】ライラック通り
- ◆道々橋自治会子ども会
【開催日】8月下旬
【場 所】道々橋八幡神社
- ◆道々橋八幡神社例大祭
【開催日】9月7日(土)
【場 所】道々橋八幡神社
- ◆久が原東部八幡神社例大祭
【開催日】9月7日(土)・8日(日)
【場 所】久が原東部八幡神社
- ◆ヒルズ久が原グリーン大作戦
【開催日】9月8日(日) 9時～
【場 所】ヒルズ久が原
- ◆久が原西部八幡神社例大祭
【開催日】9月15日(日) 11時～
【場 所】久が原西部八幡神社
- ◆ヒルズ久が原敬老祝賀会
【開催日】9月16日(月・祝) 11時～
【場 所】ヒルズ久が原管理棟多目的室

《問い合わせ先》久が原特別出張所
03-3752-4271

【編集後記】

今年の夏も猛暑予想です。水分補給を忘れ
ずに、熱中症に気をつけて過ごしてください。
編集委員を紹介させていただきましたが、
各々事情があり、できる範囲で活動してい
ます。編集の仕事に興味がある方は、お住まい
の自治会長や編集委員にお尋ねください。
地域の情報もお寄せください。

大竹 恵美子

趣味の広場 久が原ミニ展示室

区民ギャラリー久が原

平成20(2008)年5月に、久が原特別出張所ロビー
にて、区民ギャラリー久が原が開設されました。
絵画・書・写真など、さまざまな作品を展示して
います。地域のサークルの水墨画・水彩画や雪谷
高校美術部生徒の油絵など、月ごとに色々な作品
に出会えます。

ぜひ皆様も見にお立ち寄りください。

8月は日本刺繍の作品を展示予定です。9月以降
は未定。展示のご希望が
ありましたら、利用方法
など下記にお問い合わせく
ださい。



久が原特別出張所
TEL 03-3752-4271

◆ 編集委員の紹介 ◆

編集委員	岡田 久美子(西)	副編集長	本間 良子(東)	編集長	大竹 恵美子(東)
同	須藤 彰子(西)	同	福田 久美子(南)	同	同
同	星合 典子(南)	同	倉澤 かのる(ヒルズ)	同	同
同	宮田 知明(東)	同	小西 美津子(道)	同	同
同	高野 義雄(南)	同	種田 なおみ	同	同
同	松浦 三恵子	同	富田 永美	同	同
同	大林 のぼる	同	種田 なおみ	同	同

イラスト協力 (2024年7月現在)

100年に一度咲く竹の花

昨年の夏、初めて竹の花を見ました。
どれが花びらなのかよくわからないのですが、
笹の葉は無く、竹の枝に稲がふさふさと付いて
いるように見えました。持ち主の方にお聞きし
たところ、16
年前に越して
来た時から玄
関先に黒竹が
植えられてい
て、縁起が良
いと気に入っ
たそうです。
七夕の飾りに



も丁度良い大きさで、
毎年飾り付けて楽し
んでいたのですが、
この年はいつの間
に
か葉が無く、変わっ
た花が咲いていたの
で、びっくりしたとおっしゃっていました。黒
竹(クロチク)はイネ科マダケ属の常緑タケ類
で、穂の直径は2〜3センチほど、高さは3〜
5メートルくらいになり60〜120年周期で開花す
るようです。開花後は竹は枯れますが、花から
種をおとし、新たな命を再生します。

めったに見ることのできないクロチクの花を
見ることができて、情報を寄せていただいた方
に感謝です。

(大竹 恵美子)

